

第104回 科学技術部会	資料1-2
平成30年2月26日	

平成30年度 厚生労働科学研究費補助金(二次公募)課題(案)一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究	「保健関連の持続可能な開発のための2030アジェンダ」の促進を目標とした途上国における三大感染症対策の戦略提言のための研究	<ul style="list-style-type: none"> 被援助国の自立的なSDGs達成のための戦略を援助機関との関連から分析し、グローバルファンドの理事会等の会合における我が国の効果的な提言内容について検討し、提言を行う。 グローバルファンド等による援助打ち切りに伴う影響や自立的な目標達成のための戦略を分析する。 グローバルファンドの関連会合等と同様、三大感染症(エイズ、結核、マラリア)に関する専門的知見を含む、政府代表団への技術的な支援を行う。 	16,000～17,000	1	3
がん政策研究事業	がんリハビリテーションの均てん化に資する効果的な研修プログラムの策定のための研究	<ul style="list-style-type: none"> がん患者の社会復帰や社会協働という観点を踏まえた、普及性の高いリハビリテーション研修プログラムの開発 研修プログラムの実施及び臨床現場における有用性を踏まえた評価 	5,000	1	3
障害者政策総合研究事業	障害福祉サービス等報酬における医療的ケア児の判定基準確立のための研究	<ul style="list-style-type: none"> 障害児通所事業所等における、医療的ケア児支援の現状、課題、ニーズ等の調査・分析結果の報告書を作成する。 上記結果を踏まえ検討を行い、歩ける医療的ケア児を含め医療的ケア児の受入を促進し、必要な支援の提供が可能となるよう、医療的ケア児の判定基準案を提示する。 	10,000	1	2
障害者政策総合研究事業	障害者の支援機器の適切な開発、普及に向けた支援・評価体制構築のための調査研究	<ul style="list-style-type: none"> 開発・販売者、利用者それぞれの立場からの支援機器の開発、普及に関する課題を整理した報告書 既存制度を視野に入れつつ整理された、支援機器の安心安全な利用に繋がる品質、有効性、安全性に関する評価手法、指標、認証スキーム(評価・認証にあたっての支援体制を含むこと) 補装具費支給制度や日常生活用具など既存制度における支援機器の社会的評価手法 検討提言のエビデンスレベル(評価指標等の信頼性・妥当性、介入の効果等)を示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等) 	8,000～10,000	1	3

	<p>【再公募課題】 相談支援専門員及びサービス管理責任者等のスキルアップ並びに連携促進のための研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達支援を必要とする障害児や一般企業等での就労を目指す障害者等への支援について、相談支援専門員とサービス管理責任者等のスキルアップ及び両者の連携を促進させる両者共通の専門コース別研修のプログラム案 ・ 高齢化した障害者への適切な支援を実施できるように相談支援専門員のスキルアップ及び介護支援専門員との連携を促進させる専門コース別研修のプログラム案 	6,000	1	2
--	--	--	-------	---	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
エイズ対策政策研究事業	HIV感染症診療の提供体制の評価及び改善のための研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域におけるHIV感染症診療の提供体制を評価するための項目を整理する。 ・ 整理した評価項目を用いて、それぞれの地域や医療機関の背景を踏まえつつ、各地域における診療の提供体制の比較を行い、課題を抽出する。 ・ 各地域の課題を解決するための方策を検討し、既存の研修等の活用も含め、問題点の解決に向けて以下の内容を含む提言を行う。 <ul style="list-style-type: none"> － 拠点病院以外の医療機関での診療における留意事項の整理 － 非専従の医療従事者に対する研修等のプログラム構築(既存の研修等を活用できる場合はそれを含めること) － 関係機関の連携体制構築に必要なプロセスの整理 	8,000～12,000	1	3
	HIV感染症における医療経済的分析と将来予測に資する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ HIV感染症の治療方法の変遷や、HIV検査の普及等について、経済的影響を含めた現状分析を行う。分析に当たっては、保険制度その他の各種制度の影響を考慮すること。 ・ 現状分析を踏まえ、投薬治療の実態や治療中の感染者数の推移などのパラメータを用いたシミュレーションモデルを構築し、各パラメータの変化が与える経済的影響等について分析する。(分析においては、各要素が結果に与える因果関係をできる限り明示する。) 	5,000～8,000	1	2
	HIV感染症の合併症としてのアメーバ赤痢の感染実態を踏まえた診断体制の確立のための研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感度の高い抗原検査等を活用し、国内におけるアメーバ赤痢の検査の必要量等に関する調査を行う。 ・ 調査の結果を踏まえ、我が国におけるアメーバ赤痢の適切な診断体制の構築に当たって必要な事項を整理する。 	10,000～15,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
	<p>【再公募課題】 職場における酸欠リスクの実態把握と酸欠災害の防止対策についての研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞記事等の過去の記録の精査や災害発生現場での実地調査を行い、現在の法令では酸素欠乏危険場所として規定されていない場所における酸欠災害の実態を取りまとめる。 ・ 上記の結果を踏まえ、酸素濃度等の測定や労働実態の調査により労働者の酸欠リスクを評価し、規制対象の候補となる酸素欠乏危険場所及び当該酸欠リスクを回避するための防止措置の提言を行う。 	3,500	1	3

労働安全衛生総合研究事業	【再公募課題】 類似化学物質グループの包括評価手法の検討のための研究	化学物質の構造中で、健康影響を与える部分又は当該影響を抑制する部分等についての知見を収集し(例:オルトートルイジンは、IARC Group1である一方、5-クロロオルトートルイジンは、オルトートルイジンに1つのクロロ基が結合しただけであるが、IARC Group 3)、その原因を解析することにより、類似の構造を有する化学物質についての包括的評価(規制)を行うための手法を提案する。	4,000	1	3
	【再公募課題】 塗装業における、発がん性が疑われる物質へのばく露に関する調査研究	<ul style="list-style-type: none"> 塗装業における職業がんの発生状況に関する実態調査を行う。 職業がんが存在した場合、原因化学物質及びそのばく露状況に関する実地調査等を行う。 上述の結果を踏まえて、必要な規制等に関する提案を行う。 	3,500	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
食品の安全確保推進研究推進事業費	【再公募課題】 「健康食品」の安全確保に必要な技術的課題への対応と効果的な情報発信のための研究	<ul style="list-style-type: none"> 「健康食品」の健康被害や食中毒の発生を未然に防ぐ、あるいは健康被害が生じた場合に迅速な行政対応を行う仕組みを構築するために必要な情報を収集する。 新技術を用いた食品、食経験が乏しい食品の安全性を確保するために必要な手法を開発する。 食品安全に関する効果的な情報発信手法を開発する。 	5,000～ 10,000	1～2	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	新たなアプローチ方法による献血推進方策と血液製剤の需要予測に資する研究	<ul style="list-style-type: none"> 医療需要や適正使用、若年層献血者確保の観点から、 <ol style="list-style-type: none"> 諸外国における採血基準や輸血用血液製剤の規格の調査 医療機関への200mL献血由来製剤の使用実態調査や小児等へ少量輸血が必要な場合の容量及び剤形等のニーズ調査 20代・30代の複数回献血者における初回献血を含めた動機の調査 我が国の200mL献血、高校献血、献血セミナー等の必要性の検証を行う。 採血事業者・自治体・ボランティア組織等が協働した若年層献血者が増える献血推進事業をパイロット的に実施し、効果のあるモデル事業を確立 輸血用血液製剤及び血漿分画製剤の需要予測を行い、将来の必要血液量の算出を行うためのデータ収集 	3,500～ 4,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
健康安全・危機管理対策総合研究事業	災害時において高齢者・障害者等の特に配慮が必要となる者に対して適切な医療・福祉サービスを提供するための調査研究	<ul style="list-style-type: none"> 災害時において高齢者・障害者等の特に配慮が必要となる者に対する医療・福祉サービスの情報共有から支援提供までの課題の抽出 医療・福祉関係者間での高齢者・障害者等に対する医療・福祉サービスの情報共有体制整備の基礎資料作成 	2,000～ 3,000	1	1